





「京都CF！編集長の無責任、町案内」「nao's 京都牧遊記」など、京都CF！のスタッフが京都の街を綴ります。スタッフが街で見つけてきたオモロイもん、誌面では紹介できなかった取材の裏話や取材の現場をなどを、日々の奮闘ぶりと共に垣間見ることのできるのがこのブログ。スタッフブログへのアクセスは、下記の京都CF！ホームページからどうぞ。

<http://www.kyotocf.com/>



今月の
オレ
甘かった



今シーズン苦戦を強いられているサンガだけど、サンガサポーターの一人として勝利に一役買ってくれるはず！

サンガの勝利を願って…あの御仁もサポーターに!?

日々街場の「なんじゃこりゃあ？」を探し求め続けるオレ甘捜索隊。そんな隊員が京都パープルサンガのホームゲームの応援に駆けつけたある日のこと…「ボ、ボス！ 大変っす。超有名なサンガの応援してみたいで…」と携帯を鳴らしてきたわけです。「よし、こっそり写真を撮ってこい！」「無理っす、そんなバラッチみたいなことできないっす！」「いいから撮ってこい！」。ガチャ。というわけで、後日隊員から送られてきた写真がコレ。むうう、コメントしづらいわいば…。

■西京区某所

サンガに最強のサポーター登場!?

最近よく耳にする「ロハス」という言葉。「Lifestyles Of Health And Sustainability」つまり「健康で心地いい生活と地球環境にも優しい生活を両立させ、持続可能な新しい生活文化を創造するライフスタイル」というやつだ。そこで、私はロハスな「車生活」を考える。

仕事柄、車検時に排気ガスのテストを毎日に行っているが、環境対策済みの車から排出される有害物質の数値は驚くほど低い。ここ2〜3年の間に発売された車は電源を入れ忘れたかのように、テストの針が殆ど動かない。BMWは頻繁なオイル交換が不要な専用オイルと、それに耐えうる材質をエンジンに使用し、できるだけ廃油を出さないようにしている。エンジン以外にも、ホンダは再生可能な素材を使用するバンパーを開発し、交換する場合は古いバンパーを回収、メーカーへ送る流通システムを確立した。

車を乗り換えるのにも「ロハスなサイクル」があると思う。今の自動車技術の進歩、そして有利な下取り査定額を考慮すると、「新車で購入し、3年目で車検を受け、そこから一年乗って、車検を一年残し4年目で乗り換える」。私が考える最も「ロハスな車生活」である。

とはいえ、何と言っても大切な事は「ワクワクする大好きな車に乗ること」。それを忘れずに！

LOHASな車生活とは?



5th Lap

Kyoto Car-Moratorium

~京都人のクルマ知らず~



中島 崇 (なかじま たかし)

68年生。自称「車道びの達人」。創業昭和38年、北区は紫野の自動車屋(株)中島商会の二代目社長にして「安くいい車」を探すスペシャリスト。かつて自動車オークションの取引で2000万円をドブに捨て、大失敗の連続から学んだノウハウをまとめた無料小冊子「その車に手を出すな!」も好評。中島流「車道家元」を目指す京都人。

林映的 映画の味

イラスト文
ハヤシチサコ



ワシントン州「ロウバックマウンテン」という地名は、空の青が美しいが、この素晴らしい山々に、圧倒されるくらい自然があることの日映画とある!!

「真夜中のカーボーイ」69年米/監督ジョン・ショーン・ジョン・ボフマン

「ブレイクバック・マウンテン」2005年米/監督アン・リー

ヒース・レジャー / ジェイク・ギルホリス / イニス / この後まきぎは題作多し。ワシントン州に東へマシ

ジェイク・ギルホリス / ジヤック / 差能一家に生まれ姉マギモウ優気